

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 658 号	氏名	森 芙美
学位審査委員	主 査	柳原克紀	
	副 査	大園恵幸	
	副 査	青柳 潔	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 Glucokinase はインスリン分泌や解糖系・グリコーゲン合成など糖脂質代謝において中心的な役割を果たす酵素であり、glucokinase regulator protein (GKRP) によってその活性を調節されている。その GKRP をコードする glucokinase regulator gene (GCKR) の遺伝子多型と動脈硬化関連因子との関連を解析したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 2008 年から 2010 年の期間に長崎県五島市において特定健診を受診した地域一般住民のうち調査に同意が得られた 2,491 人（男性 907 人、女性 1,584 人）を対象とした。問診、身体計測、血液検査ならびに動脈硬化の指標として頸動脈内膜中膜複合体厚 (CIMT) 測定を実施した。これらのデータと GCKR の遺伝子多型の関連性を評価しており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 GCKR rs780094 の AA 群は GX (GG+GA) 群と比較し、男性でのみ有意に、中性脂肪高値、HDL-C 低値、血糖低値、HbA1c 低値であった。また、種々の交絡因子で補正後も、AA 群は GX 群と比較し、男性でのみ CIMT が有意に低値であった。この結果は、GCKR 遺伝子と動脈硬化関連因子との関連に性差が存在し、遺伝子多型解析においては性が重要な交絡因子であることが示唆した。</p> <p>以上のように本論文は動脈硬化性疾患の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			